

神の母聖マリア (ルカ 2:16-21)

出来事をすべて心に納め、思い巡らす神の母



皆さん新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。いよいよ、丙午の年がやってきました。主任司祭が生まれた年です。半分、恐れていたというのが正直なところですが、いつの間にかやって来たような気もします。

初めての赴任先で個人宅の病人訪問に出かけ、「神父様は何年生まれですか」と聞かれて、「丙午ですよ」と答えたら、「あー、私も丙午です。不思議な巡り合わせですね」と言われ、正直嬉しくなかった記憶があります。相手は一回り上の丙午の方です。なぜ、もっと喜び合えなかつたかと後悔しています。

60年ひとまわりしました。年金のことも頭にちらつきます。61歳で亡くなった中濱繁喜神父様は、何歳から受給することにしていたのでしょうか。1円ももらわずに旅立っていったのでしょうか。年金、払ったのだから、受け取りたいですね。

神の母聖マリアの祭日を迎えるました。「マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。」(2・19) マリア様は、相当記憶力が良かったと考えますが、皆さんはどうお考えになりますか?今でしたら手帳に何月何日何時、どこでどんなことが起こったと書いて、あとで振り返りをしている。そういうことです。

日記や手帳はもちろん無かったでしょう。それなのに、出来事をすべて心に納めて、思い巡らしたというのです。高い記憶力が無ければ、出来事をすべて心に納めて、思い巡らすなどできないのではないか。私はそう考えました。

ここで私は二つのことを考えました。一つは、今年一年、神の母聖マリアに、「記憶力の取り次ぎ」を願ってみてはいかがでしょうか。マリアの賛歌は、即興で歌った賛美のようにも見えますが、たくさん覚えた聖書の言葉がちりばめられているようにも見えます。そもそも即興で口をついた賛美だったとしても、並べるだけの言葉が無ければ不可能です。皆さんの中に、記憶力に自信が無い人がいるなら、取り次ぎを願うだけの価値は十分あると思います。

二つめに、もしあなたの母親が記憶力に優れているなら、それは神様に感謝すべきです。おそらく、母親が記憶力に優れていれば、子どもたちも優れた記憶力を受け継いでいるはずです。語呂合わせで記憶するような「技術」ではなく、思い巡らすことで記憶出来る力を母親が持っているなら、子どもたちも真の記憶力が授けられているはずです。

記憶力でいつも例に挙げるのは、私の母親が当時の教え方から「朝昼晩、三回唱える祈りは何ですか」と聞かれ、「お告げの祈り」と答えられず、「祈りを知らないのですか」と問い合わせられて、「知っています」と言って祈りそのものをその場で唱えたという話です。映画は覚えているけれども、映画のタイトルを覚えていない、みたいなことです

全能の神よ、聖なる福音をふさわしく告げるため、わたしの心と口を清めてください。

が、「お告げの祈り」と答えられても「祈りそのもの」が唱えられなければ意味がないのですから、その場で唱えてみせたという母親の記憶力には本当に感心します。私はその母親の子供で本当に良かったと、今でも感謝しています。

司祭になって10年くらい経ってからでしょうか、インターネットで飛行機のチケットが取れる時代になりました。今から23年前のことです。チケットを確かに予約しましたが、予約完了の注意書きに「当日、支払に使用したクレジットカードを必ず持参してください」と書かれていたのです。本人確認のためでしょう。

ところが私はうっかり、支払いに使ったカードを持参せず長崎空港に行きました。女性職員から「お支払いのクレジットカードを見せてください」と言われ、「忘れました」と告げると、「ではチケットは発券できません」と冷たく断られました。取りに戻る時間などありません。

「どうしてもダメですか」「何か方法はありませんか」と食い下がったら、「カード番号をこの場で照会できれば発券出来ないこともないですが」そう言っている女性職員の顔は「どうせ覚えてないだろ」という顔でした。

「では16桁の番号を言いますので、照らし合わせてください」と言って、「〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇これで良いですか?」と伝え、職員がバックヤードに回って戻って来ると手のひらを返したように「確認が取れましたのでチケット発券させていただきます」と、今までのやり取りがうそのような上品な対応に変わりました。母親の記憶力を受け継いでいなかったら、あの場を切り抜けることはできなかつたでしょう。

おそらく、母親も幼い時から神の母聖マリアに祈り、取り次ぎを願っていた女性だと思います。私は神の母聖マリアに、「今年一年、あなたの豊かな記憶力に助けられて過ごせますように。出来事を一つ残らず心に納める力を神様に取り次いでください」と願おうと思います。

誰しも、記憶力は衰えるものです。「しかし、マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。」マリアに取り次ぎを願う人に、マリアは必ず答えてくださいます。カトリック聖歌321番「めぐみのみはは」に次のようにあります。「マリアに祈りしねがいはすべて、わが主は必ず聞き入れ給わん聞き入れ給わん」

今日、9時ミサに二十歳の祝福式に集まってくれた青年が座っています。私より四十歳若いです。年齢差が信じられないです。その溢れる豊かさに、神の母聖マリアに取り次ぎの祈りを唱える知恵を一つ付け加えてください。マリア様は誰よりも、願う人の祈りを神様に取り次ぐ力のある方です。今年一年、願いたいことがあれば、マリアを通してイエスに願ってみてください。良い結果が必ず与えられると思います。

主の公現(マタイ 2:1-12)